

コミュニティバス「おでかけ号」の利用状況をお知らせします。

コミュニティバス「おでかけ号」をご利用いただきありがとうございます。平成20年度上半期の利用状況をお知らせします。

上半期全体での1便あたりの平均乗車数(10.14人)は平成19年度の上半期のみの平均乗車数(10.07人)とほぼ同数となっています。

平成20年度 国東市コミュニティバス「おでかけ号」運行事業 利用状況一覧表

平成20年4月～9月

(単位:人)

	路線名	運行地域	運行曜日	平成20年度 平均乗車数 (1便あたり)	平成19年度 平均乗車数 (1便あたり)	平均乗車数 比較増減 (1便あたり)	平成20年度利用状況			
							下り①乗車数	上り乗車数	下り②乗車数	乗車数合計
1	松ヶ迫・小ヶ倉	武蔵町	金	22.17	20.71	1.46	596	557	0	1,153
2	向田・浜陽	国見町・国東町	金	19.77	19.54	0.23	519	509	-	1,028
3	赤松	国東町	水	15.63	15.95	▲ 0.32	420	393	0	813
4	吉松	安岐町	木	11.81	12.64	▲ 0.83	328	286	3	617
5	治郎丸	国東町	金	11.69	11.70	▲ 0.01	306	302	3	611
6	深江・寺山	国東町	月	10.77	10.30	0.47	284	276	3	563
7	山口	安岐町	月	9.75	8.62	1.13	247	260	6	513
8	堅来	国東町	火	9.39	10.35	▲ 0.96	265	242	2	509
9	志和利	武蔵町	水	7.19	6.14	1.05	211	163	0	374
10	油留木	安岐町	火	6.57	8.20	▲ 1.63	216	139	6	361
11	鬼籠・櫛海	国見町	水	6.46	4.64	1.82	190	146	1	337
12	熊毛・長瀬	国見町	月	5.73	6.53	▲ 0.80	165	133	0	298
13	小原	国東町	木	5.42	5.03	0.39	149	133	6	288
14	櫛来	国見町	木	5.13	3.96	1.17	138	129	2	269
15	大熊毛・小熊毛	国見町	火	4.70	4.41	0.29	136	118	0	254
合計				10.12	9.94	0.18	4,170	3,786	32	7,988

☆平成20年度上半期(平成20年4月から平成20年9月)までの利用実績です。

☆「平成20年度平均乗車数」は、前年度と比較するため1日1往復で、次のように算出します。

【路線別】《「下り①」+「上り」乗車数》÷《運行回数×2便》

運行回数は、曜日によって異なります。(月・水～木=26回、火=27回)

【全体】《「下り①」+「上り」乗車数》÷《運行回数×2便=786回》

☆「平成19年度平均乗車数」は、平成19年4月から平成20年3月までの実績です。

☆「下り①乗車数」は、午前9時前後に旧町中心部に向けて運行している便の乗車総数です。

☆「上り乗車数」は、正午前後に旧町中心部から各地に向けて運行している便の乗車総数です。

☆「下り②乗車数」は、「上り」便が折り返し運行している便の乗車総数です。

地域の交通手段の確保と地球環境を守るため公共交通を利用しましょう。

コミュニティバスと同じく大切な「地域共通の財産＝公共交通」として路線バスがあります。

国東市ではバス事業者に対し市内の赤字路線バス運行維持のために補助金を支出しています。コミュニティバスの運行開始を機に赤字の路線を大幅に減便したものの、平成19年度では採算のとれない赤字路線に約4,000万円もの補助を行いました。

赤字路線では、1回あたりの運行で起点から終点まで乗った人数が平均1人に満たない路線が数多くあります。

バス利用者減少の要因として自家用車の普及があげられます。しかし、通学に用いる児童や生徒、高齢者にとってバスは重要な交通手段です。路線バスの利用者が減少すると、赤字が増加し、その結果維持のための補助金が増加することとなります。しかし、市の財政状況は厳しく、現状のままでは、すべての路線バスを維持するのは困難になることが考えられます。

限られた財源の中で有効な補助が行えるよう、市ではバス事業者と協力して路線の見直し等を行っています。しかし、路線バスを維持するために最も重要なことは、実際にみんなでバスを利用することです。

公共交通の利用促進は地球温暖化防止の有効な手段でもあります。

地域の交通手段の確保と地球環境を守るため公共交通を利用しましょう。

問い合わせ 企画課企画係 ☎0978-72-5161